# さざ町政だより

**町の人口**

【12月31日現在】

| | |
|---|---|
| 総人口 | 11,695人 |
| 男5,549人 | 女6,146人 |
| 世帯数 | 3,347戸 |
| 出生 17人 | 死亡 11人 |
| 転入 56人 | 転出 48人 |

## 災害のないまちを願ってパレード

（佐々中央街）

**おもな内容**


●松浦線存続期成会開く
●消防出初式
●最低賃金2、541円 【2面～3面】
●新成人の門出を祝福
●税金などの納入は…
●町長おもな日誌 【4面～5面】
●交通安全母の会表彰
●高額療養費をごぞんじ？
●もうすぐ一年生「名簿紹介」 【6面～7面】
●随筆郷土誌
●古紙回収お礼（町婦人会）
●モチを寄贈（市瀬躍進会ほか）
●「国際障害者年」を迎えて 【8面～9面】
●二月のお知らせ 【10面】


**こよみ**

●省エネルギー月間
●成人病予防週間 ～7日
●覚せい剤・麻薬取締り強化月間
●建国記念の日 11日
●昭和五十五年所得税の確定申告 ～3月16日
●第36回国民体育大会冬季大会（スキー競技）～24日
●春の全国火災予防運動及び山火事・車輌火災予防運動強化月間


発行　佐々町役場企画室（電話2－2101）佐々町本田原免168の2（〒857－03）　坪上印刷


**2月**

# われらの『松浦線』存続をめざし

## 佐々町“松浦線存続期成会„開く

今のままでは、あと二年で長い間私たちの足として利用し、親しんできた松浦線が廃止になります。
通学、通勤、通院、また日常の用足しに欠かせない大切な鉄道です。

## 国鉄松浦線を利用しましょう！

国鉄再建法により、廃止の対象とされている「松浦線」の廃止反対、存続確保、更に機能アップの実現を期するとともに、乗車実績の向上に協力体制を推進するため、佐々町では、一月十四日役場で「国鉄松浦線存続期成会」を開きました。

期成会には、沿線利用者代表、各種団体及議会代表など約五十人が出席し、菊本町長池田町議会議長ら挨拶のあと松下広氏（町議会厚生文数委員長）を会議の議長として選出、菊本町長より中央の状況沿線市町村の動きなど説明あいさつ後、総務課長の経過説明により、「松浦線存続運動と松浦線利用の進め方」、「規約審議」等を行い資料として、「国鉄松浦線の廃止に反対する決議」（松浦線存続沿線市町村期成会決起大会）や「経営改善と存続についての陳情書」、また佐々町独自の作成したものを中心に存続運動を続けていくことゝしました。

現在一日一千七四二人の乗車実績を一日二千人以上の乗車人員がなければ昭和六十年には廃止されることになります。皆さんのご協力を得て国鉄を利用して、一日二千人以上の実績をつくりましょう。

### 国鉄松浦線の廃止に反対する決議

政府が、さきの第92国会に提出し、目下運輸委員会において審議中の「日本国有鉄道経営再建促進特別措置法」案は、国政上きわめて重大な、しかも、国民的課題として厳粛な対応を迫られているものである。

法案は、国鉄の根本的な体質改善を骨子とし、収支の改善を目標に、所要の措置を講じようとするものであるが、なかんずく、あと２年の中に、約4.000キロメートルにおよぶ、いわゆる赤字路線を、不退転の決意をもって廃止しようとしている。その具体的方策としては、乗車密度並びに収支係数のデーターによって、特定地方交通線を選定し、バス輸送又は、第３セクター、民間事業者等による鉄道輸送に転換を行うこととなっている。

激動する社会経済の様変り、とりわけ、モータリゼィション及び航空機利用の増勢から余儀なくされた、国鉄の宿命とは云え、単なる企業採算のベースから、見切り廃止を敢てしようとするのは、公共性を謳歌しつづけてきた国鉄として、まことに遺憾であり、暴挙とも言える。国民への背信は肯めない。更に、今回発表された国鉄監査の報告によると、わが松浦線は、バス転換の対象路線全国ワースト92線の中81位、同じく、九州20線の中の18位にチエックされ、存廃の岐路に立たされている。

思うに、わが松浦線は、半世紀に近い歴史の軌跡を残し、かっては、全盛を誇った頃の北松炭田の鉄路として、国策に奉仕した。軍都佐世保の背後を走って、国防上の重責に任じてきた今日もなお、地域住民の足として、それなりの役割を果たしている。

特に水産物の流通、或いは、観光の面より、今後の輸送需要の増大が予想されているだけに、当地方の大動脈として、国家的視点からも、輸送機能は確保されねばならない。

われらは、徒らに声を大にして、廃止反対を叫ぶものではない。国鉄当局に対し、もっと利用し易いような経営の改善実施を、強く要望するとともに、それに呼応してわれらの松浦線を守る意識を盛り上げ、ワーストの汚名を返上すべく、乗車協力の体制づくりと、その実行を強力に推進しようとするものである。

ここにわれら、地域45万住民の悲願をこめて、われらの松浦線を死守すべく、決意を新たにし国鉄松浦線廃止に、絶対反対するものである。

1. 幅広い乗車運動を展開し、強力に乗車協力を推進する。
2. 利用し易いダイヤ改正を断行されるよう切望する。
3. バス輸送或いは第３セクター・民間委託等による鉄道輸送には、同意しない。
4. 廃止を前提とする「特定地方交通線対策協議会」の設置は認めない。
5. 半世紀に及ぶ風雪の鉄路「松浦線」を遺産として確保する。
6. 見切り発車的「松浦線」の廃止に絶対反対する。
7. 地元出身国会議員・県知事・県議会等の政治力に期待する。

以上決議する。

昭和55年９月８日　　松浦線存続沿線市町村期成会決起大会

## 汽車の時刻表を知り利用しましょう

町民一人一人が時刻表を知り国鉄松浦線を利用することが存続第一の条件です。

**国鉄松浦線時刻表** (S55・10・1改正)

有田ー伊万里ー平戸口ー佐世保（下り）

| | 肥前吉井 | 肥前神田 | 上佐々 | 佐々 | 小浦 | 真申 | 佐世保 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 6:49 | 6:52 | 6:56 | 7:00 | 7:04 | 7:07 | 7:38 | |
| | 7:17 | 7:20 | 7:24 | 7:29 | 7:32 | 7:36 | 8:12 | (長崎着10:41) |
| | 8:07 | 8:10 | 8:15 | 8:18 | —— | —— | —— | |
| | 8:44 | 8:48 | 8:52 | 9:06 | 9:09 | 9:12 | 9:46 | |
| (博多発 8:16) | 11:19 | —— | —— | 11:36 | —— | —— | 12:00 | (長崎着13:34) |
| | 14:28 | 14:31 | 14:35 | 14:40 | 14:43 | 14:47 | 15:17 | |
| | 14:35 | 14:38 | 14:41 | 14:46 | 14:49 | 14:53 | 15:23 | |
| (博多発12:12) | 16:24 | 16:28 | 16:32 | 16:43 | 16:46 | 16:49 | 17:24 | |
| | 17:25 | 17:28 | 17:31 | 17:38 | 17:41 | 17:44 | 18:22 | |
| | 19:18 | 19:21 | 19:25 | 19:34 | 19:37 | 19:40 | 20:11 | |
| | 20:39 | 20:42 | —— | 20:50 | 20:53 | 20:57 | 21:46 | |

佐世保ー平戸口ー伊万里ー有田（上り）

| | 佐世保 | 真申 | 小浦 | 佐々 | 上佐々 | 肥前神田 | 肥前吉井 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 5:02 | 5:34 | 5:37 | 5:41 | —— | 5:48 | 5:52 | (有田着 8:12 博多着10:54) |
| | 6:37 | 7:16 | 7:20 | 7:32 | 7:36 | 7:40 | 7:44 | (有田着 9:45 博多着12:01) |
| | —— | —— | —— | 7:47 | 7:50 | 7:54 | 7:57 | |
| | 7:41 | 8:23 | 8:27 | 8:30 | —— | —— | —— | |
| | 11:36 | 12:14 | 12:18 | 12:28 | 12:32 | 12:36 | 12:39 | (有田着15:14) |
| | 13:31 | 14:05 | 14:08 | 14:13 | 14:17 | 14:21 | 14:31 | (有田着17:57) |
| | 15:29 | 16:02 | 16:05 | 16:11 | 16:15 | 16:19 | 16:23 | (伊万里着17:59) |
| (長崎発14:33) | 16:15 | —— | —— | 16:44 | —— | —— | 16:53 | (博多着20:10 有田着19:10) |
| | 17:53 | 18:27 | 18:30 | 18:34 | 18:37 | 18:42 | 18:45 | (有田着20:41) |
| | 18:53 | 19:25 | 19:28 | 19:32 | 19:35 | 19:39 | 19:43 | (有田着21:40) |
| (長崎発18:31) | 20:50 | 21:22 | 21:25 | 21:29 | —— | 21:35 | 21:39 | (平戸口着22:06) |

「消防出初式」

## 放水訓練で幕を閉じる

佐々川でいっせい放水

一月六日、佐々町恒例の消防団（里元剛一団長二〇四人）出初式が佐々中学校で行われました。永年勤続表彰などのあと、威勢の良い放水訓練やパレードを披露しました。

式典は午前十時から開かれ消防団員や来賓ら約三百人が参加するなか、菊本町長ら来賓あいさつのあと、永年勤続優良団員等の表彰。また里元団長は「ことしも火災予防と早期消火に全力を尽くそう」と新に決意を表明しました。

式典のあと機械器具点検、ポンプ自動車（第七分団）小型ポンプ車（第四分団）の操法披露、パレード、いっせい放水を実施しました。

### 火災が多発しています

◎投げ捨て、落下、消し忘れ　たばこの〝三大失火原因〟

◎ストーブやガスの取り扱い不注意による失火の原因

火災は、アッという間に私たちの生活の場を焼きつくし最悪の場合には、尊い命まで奪ってしまいます。

### 〝留守中の火災〟

留守の間に火事になり、出火原因を調べてみると、座ぶとんに落ちていた「たばこの火」が原因だったなどというケースがしばしばあります。

**火事を出すのも**
**消すのも**
**あなたです**
**くれぐれもご注意ください**

## 県最低賃金は2,541円に

「長崎県最低賃金」が改正になり、従業員に支払う賃金は、一日二千五百四十一円（一時間三百十八円）以上になりました。

「産業別最低賃金」は、仕事の内容で二種類になっています。

くわしいことは、江迎労働基準監督署（電話江迎⑤21 41番）におたずね下さい。

| 区分 | 最低賃金件名 | 最低賃金額 日額 | 最低賃金額 時間給額 |
|---|---|---|---|
| 地域別 | 長崎県最低賃金 | 2,541円 | 318円 |
| 産業別最低賃金 | 食料品製造業 | 2,748<br>2,624 | 344<br>328 |
| | 機械・金属製品等製造業 | 2,850<br>2,583 | 357<br>323 |
| | 自動車整備業 | 2,884<br>2,665 | 361<br>334 |
| | 卸売業・小売業 | 2,832<br>2,677 | 354<br>335 |
| | 繊維産業 | 2,752<br>2,656 | 344<br>332 |
| | 木材・木製品・家具・装備品製造業 | 2,827<br>2,679 | 354<br>335 |
| | 出版・印刷・同関連産業 | 2,760<br>2,623 | 345<br>328 |
| | 窯業・土石製品製造業 | 2,893<br>2,700 | 362<br>338 |
| | 陶磁器・同関連製品製造業 | 2,725<br>2,668 | 341<br>334 |

# 新成人の門出を祝福

佐々町では、恒例の成人式を町民体育館で開き、新成人者＝男六十人、女七十六人、計一三六人の門出を祝った。

式典は、午前十時から始まり、菊本町長が成人証書を授与したあと、「あすの次代を担う成人としての自覚を持ちそれぞれの職分に励み社会人として活躍されることを期待します。」と式辞を述べ、また池田町議会議長他からお祝いの言葉のあと、新成人者代表が「両親や地域の皆さんのおかげです。期待にこたえられる社会人を目指します。」と感謝の言葉を述べられました。

多数の父兄と来賓者の祝福をうけるとともに、先輩となる青年ボランテア数名の協力も得て、各自喜こびのうちに終りました。

なお、新成人者に記念として町花「さざん花」を各人に手渡されました。

# 41件96アールが成立

## 〔農地を安心して貸し借りする制度〕

農用地を有効に利用するための事業を、本町では55年度から５ヶ年事業として「農用地高度利用促進事業」を進めてまいりました。

55年度は10月20日（締切）で・申出面積・田91.711㎡・畑4.643㎡計96.354㎡
貸手29戸・借手34戸と、農家の方々のご協力により55年度目標に達しました。

利用権設定の公示をＳ55年11月25日にし、始期Ｓ55年11月25日終期Ｓ58年11月30日の３ヶ年となります。

利用権を設定（賃貸借）した農地の移動などの際は必ず農業委員会事務局へお届け下さい。

# 税金などの納入は……

町税、水道料、保育料そのほか町に納められるすべてのものを

親和銀行佐々支店
佐世保市農業協同組合佐々支所
佐世保市信用組合佐々支店

でも納入できますので、都合のよいところで納められるようお知らせします。

なお町外にある親和銀行（支店のどこでもよい）ならびに佐世保市信用組合でも納入できますのでご利用下さい。

## ご注意ください

# 水道管の凍結防止

冬の間は、水道管の凍結と破裂が多くなります。とくに戸外に出ている水道管は、中の水が凍って水が出なくなったり、凍るときに水道管を破裂させたりします。水道管に布ぎれやなわを巻いて冬のきびしい寒さから守ってください。凍結したときは、ぬるま湯をかけて解かしてください。熱湯をかけるとかえって破裂することがあります。

ぬるま湯で　ゆっくりと
（熱湯はだめです）

# 長町おもな日誌

【十二月】

26日▼松浦線存置陳情帰町▼千本公園道路開設地主との交渉
27日▼御用納式あいさつ▼三柱神社奉賛会役員会
29日▼町内各種工事箇所現地視察
30日▼消防団年末警戒町内まわり

【一月】

1日▼名刺交換会（勤青ホーム）
5日▼御用始式▼成人式（町民体育館）
6日▼消防出初式（佐々中）▼各分団まわり
7日▼老人会健康祈願祭（三柱神社）
8日▼河本敏夫経済企画庁長官来県につきあいさつ
9日▼教育長、町内小中学校長と町長懇談会
10日▼国鉄松浦線廃止反対総決起大会（松浦市民会館）
11日▼栗林地区町政懇談会▼市瀬地区総会出席
12日▼熊本農政局へ鉱害予算陳情▼県北振興局用地課長外用地交渉懇談会
13日▼福岡通産局、九州鉱害事業団、鉱山保安監督局へ予算確保陳情
14日▼松浦線存続期成会▼片木線起工式
15日▼松浦線存続陳情（東京15日～17日）
16日▼国会、運輸、自治、通産各省庁関係向へ松浦線存置陳情
17日▼三柱神社奉賛会▼友田一二氏叙勲祝賀会（青葉）
19日▼松浦線存置問題期成会（長崎）
20日▼北松南部清掃一部組合会議総会（鹿町町）
21日▼北松森林組合役員会一行と小径木研修会（鹿児島県）へ
22日～23日▼長崎県市町村職員共済組合役職員研修会（町長、理事長として主催者＝長崎市）

# 交通安全母の会表彰

十二月十日、第七回交通安全母親全国大会で佐々町交通安全母の会々長久家ミチさんに対し「長年にわたり交通事故防止活動に参加され、母親の立場から献身的に尽力された功績は顕著であった」として記念品を添えて表彰されました。

（写真は菊本町長より伝達）

# 国道の横断に気をつけましょう

佐々町の国道二〇四号線は車の通行が激しく、そのため国道を横断する歩行者の事故が多発しています。

このような事故が今後起らないよう次のことがらに注意しましょう。

●歩行者は、国道を横断するときは必ず横断歩道を渡りましょう。

●斜に横断してはいけません。

●横断するときは左右をよく見て渡りましょう。

●幼児やお年寄りには、身近な人が安全に渡らせるようにしましょう。

●運転者は、横断歩道のない交差点やその近くを歩行者（自転車等）が横断しているときは、その通行を妨げてはいけません。

●スピードの出しすぎ、その他の交通違反を起さないように注意しましょう。

（佐々警部補派出所）

## 事業入札状況 （１月19日現在）

| 入札日 | 事業名 | 請負業者名 |
|---|---|---|
| 12月26日 | 片木地区農道開設工事 | 金納建設 |
| 〃 | 大茂市瀬林道改良工事 | 岩野組業 |
| 〃 | 古川地区小規模治山工事 | 中井産業 |
| 〃 | 林道大茂市瀬線災害復旧工事 | 岩野組 |
| 〃 | 第２保育所間地切工事 | 石田工務店 |
| 〃 | 第１保育所暖房施設工事 | 三友冷熱設備 |
| 〃 | 第２保育所　〃 | 大和設備 |
| 〃 | 小春露切橋側溝整備工事 | 中井産業 |
| 〃 | 新町第２地区家屋等鉱害復旧工事 | 〃 |
| 〃 | 大新田線法止工事 | 石田工務店 |
| 〃 | 旧県道横断暗渠工事 | 田建設 |
| 〃 | 神田線側溝整備工事 | 工建設 |
| 〃 | 羽須和川護岸整備工事（２工区） | 務建設 |
| 〃 | 羽須和川床版工事 | 店建設 |
| 〃 | 江里地区排水路整備工事 | 加玄県岩上加県東金玄東岩 |
| 〃 | 浜迎地区下水路整備工事 | 田洋北野田田北陽納洋陽野 |
| 〃 | 丸山地区　〃 | 建建建建建建建建建組 |
| 〃 | 三柱神社線側溝整備工事 | 設設設設設設設設設 |
| 〃 | 社の元地区排水路整備工事 | 設設設設設設設設設 |
| 〃 | 下里地区下水排水路整備工事 | 設設設設設設設設設 |
| １月16日 | 町道木場線災害復旧工事 | 組 |
| 〃 | 〃（一般土木工事） | 三扇コンサルタント |
| 〃 | 〃（ボーリング工事） | 岩野組 |
| 〃 | 〃（55年災査定3872） | 岩野組 |
| 〃 | 小丸山線舗装工事 | 中九州道路 |
| 〃 | 東町線舗装工事 | 中九州道路 |
| 〃 | 神田線外舗装補修工事 | 加外道路 |
| 〃 | 町道第３保育所線改良工事 | 岩田道路 |
| 〃 | 町道口石水道線拡巾工事 | 中野建設 |
| 〃 | 佐々地区飼料基盤整備工事 | 加井組 |
| 〃 | 商工会館玄関改良工事 | 中田設 |

# 赤十字の仕事

## 赤十字の三つの講習

みんなが安全で健康な暮らしを守るための講習会です。

**救急法**
医師に見せるまでの応急手当法、人工呼吸などの10項目の救急法を教えます。

**水上安全法**
水上事故を防ぎ、溺者救助法や、海岸、プールサイドにおけるケガや急病の救急法を教えます。

**家庭看護法**
家庭で病人がでたとき、医師がくるまでの手当やその後の処置、看護の仕方の知識や技術を教えます。

**申し込み**
地域、職域、学校、PTA等のグループ単位で、日赤支部へ申し込めば無料で受講できます。

## 事故と献血

あなたの献血は…尊い生命をすくいます。公害・災害・交通事故など、私たちのくらしは、いつも安全とはかぎりません。

いつ、どこで、どんなことが起るかも知れない世の中です。とくに、かけがいのない生命は自分自身で守らなくてはなりませんが、社会全体がお互いの生命の安全のため協力しあうことが大切だと思います。

献血は人間だけに許された尊い助けあいです。そしてみなさんがこぞって応援してくださってこそ達成される大きな仕事です。

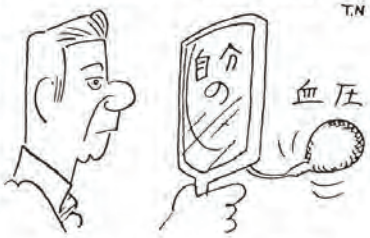
あなたの手で献血のこの愛の輪を、もっともっと、大きくひろげてください。

## あなたも赤十字社員にご加入ください

赤十字の事業は、皆さんから毎年おさめられる社費によってまかなわれており、社費を納めることによって社員になります。社員になるのに面倒なことはなく　どなたでもすぐ加入でき、法人や団体でも社員になれます。毎年五月は赤十字運動月間でこの折、奉仕団や、町会役員が皆さまのお宅を訪問いたします。まだ社員でなければ、是非この機会にご加入ください。（訪問のない地域は、日赤各支部又は市町村役所か福祉事務所にお問い合せください）。

# 広げよう献血の輪

## 成人病予防は 血圧の管理から




〝まだ若いから〟といって油断は禁物です。

血圧が最高一六〇、最低九五以上の人は高血圧といわれ塩分のとりすぎに注意する必要があります。

## おめでた

### ご結婚おめでとう

| 氏名 | | 部落 |
|---|---|---|
| 夫 | 田中　美勝 | 沖田 |
| 妻 | 田中美登里 | |
| 夫 | 長谷川　忠 | 市瀬 |
| 妻 | 立野　友子 | |
| 夫 | 川村　純男 | 沖田 |
| 妻 | 吉浦　成美 | |

### お誕生おめでとう

| 父の名 | 母の名 | 続柄 | 出生児 | 部落 |
|---|---|---|---|---|
| 江川　義人 | 冨美代 | 長男 | 史義 | 鷲尾 |
| 渡辺　和光 | すえ子 | 長男 | 松永 | 堤 |
| 家中 | 誠二 | 長男 | 直樹 | 市瀬 |
| 嶋藤 | 康子 | 長女 | 真美 | 市瀬 |
| 松本 | 幸一 | 長男 | 重明 | 木寺 |
| 幸平 | 留美子 | 長女 | 久美子 | 田 |
| 範広 | 宗子 | 二男 | 重洋 | 若 |
| 宏子 | 絵里奈 | 長女 | 太助 | 佐 |
| 喜好子 | 古川 | 二男 | 恵子 | 淡 |
| 勝典 | 日野 | 長女 | 一路 | 田 |
| 真弓子 | 雅人 | 二女 | 松瀬 | 池 |
| 里 | 四男 | 学 | 芳津 | 田 |
| 山 | 利幸 | 長男 | 尚志 | 利 |
| 芳津 | 長女 | 康男 | 沖田 | 野 |
| 森田 | 絵英子 | 二女 | 市瀬 | 中 |
| 学 | 芳浦 | 利弘子 | 新町 | 藤 |
| 康男 | 石 | 多恵子 | 水道 | 原 |
| 長男 | 市瀬 | 真木人 | 土手迎 | 堤 |
| 岩松 | 良人 | 長男 | 貞治 | 松永 |
| 福田 | 二男 | 和頼 | 博 | 真申 |
| 二女 | 学 | けい子 | まゆみ | 新町 |
| 岩松 | 良人 | 二男 | 和頼 | 博 |
| 福田 | 二女 | 学 | けい子 | まゆみ |
| 尾崎 | 範広 | 二男 | 宏子 | 喜好子 |
| 山中 | 勝典 | 長女 | 真弓子 | 里 |
| 福田 | 二女 | 学 | けい子 | まゆみ |
| 松本 | 幸一 | 長女 | 絵里奈 | 古川 |
| 嶋藤 | 幸平 | 長男 | 留美子 | 太助 |
| 松本 | 幸一 | 長女 | 絵里奈 | 古川 |
| 嶋藤 | 幸平 | 長男 | 留美子 | 太助 |
| 堤 | 雄司 | 長男 | 一路 | 松瀬 |
| 松永 | 貞治 | 二女 | ツヤ子 | 冬子 |

### ご冥福を祈ります

| 氏名 | 年令 | 部落 |
|---|---|---|
| 松本　ミツ | 72才 | 土手迎 |
| 森田　助市 | 85才 | 市瀬 |
| 築地　清子 | 60才 | 芳浦 |
| 末吉　正夫 | 68才 | 志方 |
| 村上カズヨ | 63才 | 東町 |
| 福本　勇 | 42才 | 里 |
| 法中ツタ子 | 75才 | 神田 |
| 末吉金十郎 | 75才 | 西町 |
| 松本済太郎 | 68才 | 芳浦 |
| 七種　重任 | 71才 | 木場 |
| 野中　満 | 57才 | 松瀬 |
| 高島　ツル | 82才 | 野寄 |
| 福田　マス | 67才 | 四ツ井樋 |
| 坂田　政義 | 79才 | 松瀬 |
| 山内芳太郎 | 82才 | 東町 |

（一月十四日受付分）

## 高額療養費をごぞんじですか

同じ月内に同じ病院や診療所に、ひとりの被保険者が三万九千円以上の自己負担額（医療費の三割）を支払ったときは、三万九千円をこえた額を、全部国保が負担して、あとから払い戻しされます。つまり、医療費の自己負担額は月三万九千円までということになります。具体的には次のとおりです。

(1) 支給額

一つの病院や診療所に、支払った額から三万九千円を差引いた額。ただし、差額ベッド代や歯科の差額診療など、保険診療外のものは対象になりません。

(2) 自己負担額（一ヶ月三万九千円）計算の基準

㋑ 一日から月末までの受診について一ヶ月として計算します。

㋺ 病院、診療所ごとに計算します。

㋩ 同じ病院でも、歯科（内科や外科など）と歯科がある場合、または総合病院の各診療科は、それぞれ別の病院、診療所として計算します。ただし、総合病院の入院患者が他の科の診療を受けた時は合算して計算します（そのときでも歯科は別です）

㋥ 入院と通院は、同一の病院、診療所でも別計算です。

## 国保だより

### 国民健康保険の医療費の通知についてお知らせ

健全な精神は健全な身体に宿ると言われていますが、豊かで明るい家庭を育てるには、まず健康であることが大切です。健康こそが唯一の財産と言えます。佐々町では常日頃より住民の健康づくりを積極的に推進しているところですが、昭和五十五年度では、このほか被保険者の方々が、病気やケガのため国民健康保険で昭和五十五年十月に受診された一ヶ月分の医療費の額を昭和五十六年二月にお知らせすることにしております。この通知は、健康の大切さについての関心を高め、健康管理の必要性をより一層自覚してもらい、家庭や地域での健康づくりの意義の高揚を図ることを目的として全国的に実施するものです。この通知の内容は、受診者名、医療費の額、入院日数、通院日数、薬局で投薬を受けた日数および正しい保険診療の受け方等でありこのことは個人の秘密に属することでもありますので、その取扱いには慎重を期し密封のうえ親展で世帯主に郵送（又は配送）することにしていますのでご承知ください。

**国保税納めてニコニコ健康万才**

写真は佐々町幼稚園の活動

# もうすぐ うれしい一年生

今春4月小学校へ入学される一年生219名の紹介をいたします。記載もれや誤字脱字がありましたら教育委員会へお知らせください。
(電話②2128番)

## ▼佐々小学校▲ 男四十四名 女五十三名 計九十七名

▼古川＝土手口由香、斎藤晶子、池田香織▼中央通り＝濱田泰孝、中村信一、作永善則太田幸二、久家理恵子、平田加代、濱田めぐみ、西尾博子▼志方＝浦田満、辻智子、浦田博美▼野寄＝村上義嗣、七種秀俊▼栗林＝早田和広、岩永亨、吉福千春、藤田美保子▼里山＝徳永正博、河野猛、福田秀一郎、坂本良、松尾渉吉田幸弘、久和哲邦、横田聖花、堤文子、川崎直美、竹久愛、川崎喜代子、山口一歩、高島明、筒井香織、井上明子山崎由紀子▼市瀬＝西村宗親山科正昭、尾形道弘、杉村達男、安達泰文、北川新一、前田幸毅、川渕一法、吉富真貴安達美紀、岡本玲枝、北川朝美、西村英里子、田中恵子、村川智美、七種美由喜、谷本文代、山口純子、前川智代▼鴨川＝今永光夫、兼子咲子▼松瀬＝川畑克人、白石雅春、中山敬介、廣永一樹、坂口潔嵯峨和幸、山城江美、田島るみ子、木下かなめ、山下直美上田章代、久保田恵美▼鷲尾＝渡部千鶴▼神田＝大瀬義信山野真爾、立石純司、小畑修一、宮原良之、溝上順也、川添貴史、坪井晴美、池田朋美野田和歌子、廣川真裕美、山浦美紀、草野昌子▼江里＝北川栄幸、北川裕紀、北川寿乃北川治江▼若佐＝磯本一茂、中村良一、河上寿隆、原田美代子、山内知代美、鵜池美保下村美雪▼牟田原＝森伸彦、森明美

## ▼口石小学校▲ 男七十一名 女五十一名 計一二二名

▼里＝山内晃、森田伊宏、坂本誠、古庄英介、吉永拓朗、牟田敬三、山浦建太郎、田中順穂、横田和則、岡本泰弘、永田淳一郎、田平英之、増本大輔、山内美佐子、宮村友里松本弥生、武藤愛子、坂本真由美、前川みさき、草津由美子、松田美紀子、池田真由美川下洋美、川口美由紀、中野彰子、山本理華▼新町＝田中幸太郎、河津忠臣、福田昭和福田輝夫、溝口誠、前田清春田中智門、福田英俊、川尻慎一、福田幸生、杉原潔、田中一幸、古瀬貴明、甲斐直美、迎春美、岩田奈々美、松園未央、増田ひとみ、木下左枝子松園さおり、林玲子▼木場＝野中遵敬、林泰亘、立石愛、平田みゆき▼口石＝森田誠、中路忍、藤永雷太、山本賢五藤永公一郎、森田久幸、前田和広、酒井大輔、森田晃輔、小鷹新弥、藤永真理子、松田美紀、森田幸、前田ひとみ、佐伯結香、古賀友美、深江由紀、鳥巣さち子▼四ツ井樋＝松本一樹、福田正樹、熊谷茂樹、永安志津子、貞松優子、永安かなえ▼水道＝川頭昭夫山辺栄一、山田修、山村利彦谷口和明、堀野知彦、田中仁松本好子、富田奈緒美▼浜迎＝田中敬三▼土手迎＝田島浩二、福田政憲、林美紀▼真申＝山下洋一郎、石田誠▼芳の浦＝安達克海、森園法仁、福沢伸浩、吉村将司、黒目亜希子、元川奈緒美、福田美紀、鴨川忍、福沢一江、坂井亜希子▼東町＝坂口俊哉、松田孝喜、森山泰輔、蛭子公一、佐々大三郎、筒井賢二、畑島耕川口弘、朝隈正子、真木順子熊野あゆみ▼西町＝山邊正徳阿比留仁志、松本勝行、古賀ゆりか、内田裕子、山口晴美藤永愛▼里鉄道＝原口多恵▼沖田＝森林睦、田中崇、長谷学

(一月十四日現在)

# 佐々町勤労青少年ホームだより

働く若人のいこいの場所、仲間づくりの場としてヤングプラザが開放されてから今年で七年目を迎えました。現在までに数多くの先輩諸兄姉が良い職業人、良い社会人としての資質を磨かれました。

最近は若人の余暇利用が変化したのかホーム利用者が減少したようです。皆さんのために解放されているホームを積極的に上手に利用しましょう。

ホームは冬の夜も全館暖房でホッカホカでほんとにアットホームです。何か習いたい人、お友達をつくりたい人、独りでさびしい人、気軽にホームへ出て来ませんか。友達を誘って楽しい時間を過ごしませんか。いまホームでは講座が写真、料理、生け花、着つけなど六つ、クラブは絵画袋もの、バレーボール、モダンバレー、それに一月から新しくフォークサークル、が始まりました。若い仲間、同好の友達を待っています。

―フォークへのお誘い―

詩を書く人、フォークが好きな人、ギターを弾ける人もギターを弾けない人も仲間をつくって見ませんか。毎週月水金の夜七時から九時まで練習していますのでどうぞ。

## 町青年会・市瀬躍進会
# つきたてのモチを寄贈

十二月二十一日、町青年会市瀬躍進会の皆さんは、佐々町老人センター「あけぼの荘」をはじめ、町内の福祉施設その他の施設に飾りモチ等を贈り、たいへん喜ばれました。

同会員は、仕事の合い間をぬって、キネやウス、それにモチ米などを持参して行ったものです。

市瀬躍進会は、スポーツ等の競技会で青年会員と交流を深め、いまでは仲間としてのきずなが結ばれ、こうした合同会を催しています。

# 古紙回収にお礼

町地域婦人会長　久家　ミチ

「ちりも積もれば山」という言葉を今一度考えを新たに行動にうつしましょう。

時代の変遷に伴い省資源、省エネルギーと強調されている現今、佐々町地域婦人団体では、ボランティア活動の一つとして、古新聞及びダンボール回収を五十四年十二月から二ヶ月に一回実行し、その売上代金が約八万円余りになりました。

これを何かのお役に立てたいとの話し合いで、昨年末に佐々小・口石小・佐々中学校の各ＰＴＡと佐々町社会福祉歳末たすけあい募金として寄贈いたしました。

回収にご協力いただいた皆様方にご報告とお礼を差し上げ今後なお一層のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今年は二・四・六・八・十・十二月（該当日の二十六日）に回収に参りますので地区公民館または婦人会の支部長さんが指定した場所に届けていただければ幸いです。

古新聞、雑誌、折りこみ広告、ダンボール、ボロ布等です。ただし綿類は該当しませんのでご了承ください。

どうぞよろしくご協力をお願いいたします。

## サンタがやって来た

12月22日、佐々幼稚園ではクリスマス会を開き、遊戯やゲームを行いました。

その最中にひょっこりサンタクロース（菊本町長）がやって来て大きな袋の中から園児にプレゼントを配って喜ばせ、また来年も来ますと云って去っていきました。

# 随筆郷土誌 (78)

宮原九一郎

## 大正時代の佐々(28)
## 炭　鉱（その三）

戦後、炭鉱の生活がすっかり改善されてからのこと、うっかりして私が「炭鉱のナヤ」と言ったところ、

「ナヤと言うな、社宅と言え」の叱られて恐縮したことがあったが、子供の頃から言い馴れた炭鉱ナヤが私の脳裏から消えていなかったのである。

納屋と書いてナヤと読むのだが、その頃炭鉱納屋と言えば坑夫（鉱員とはまだ言わなかった）の住居と決っていた。

私は炭鉱生活の経験はないが炭鉱の近くに住んでおり、おまけに私の父が、炭鉱の納屋建てをしていたから、学校の休みの日など手伝いに行ったりしていたので、大体の様子は記憶に残っている。

掘立（ほりたて）納屋と言って、先づ宅地の地割りをして柱の位置を決め、柱毎に五〇㎝程の穴を掘って次々に杉の丸太の柱を建て、行き、柱の頭を一定の高さに揃えた後これも杉の丸太でケタやハリを釘で打ちつけ、四角（よすみ）からサスを立て、棟木を取り付けて屋根の形とする。屋根は稲藁のさかぶきと言う、最も簡単な葺き方であった。雨は漏らないがせいぜい三年位しか保たなかった。

細長い家を三戸か四戸に区切り、一戸分は三尺の土間と六畳一間が普通のようであった。壁は土の荒壁であり、隣との仕切りも壁一重だけ。而も壁は柱の高さだけしか塗らず、勿論天井もないのだから高い屋根裏は四戸共通、プライバシーも何もあったものではない。

ある家で壁際に置いているタンスの引出が動かないので原因を調べたら、隣で着物を掛ける為に壁に打った釘が、壁を突き抜けて向うのタンスまで貫いていたと言う話もある。併しタンスを持った坑夫など、当時は滅多にいなかった。

## 佐々町社協だより
(でんわ②2655)

**寄付のお礼**

◎香典返しとして
▽故福田　ヤク殿
▽故福田　四井樋　福田　勉殿
▽故大浦　ハツ殿
神田　大浦　慶子殿
▽故前川　嘉蔵殿
里　前川ヒロ子殿
▽故福田　助一郎殿
土手迎　福田　スエ殿
▽故黒川　鉄市殿
水道　黒川　ヨネ殿
▽故松尾　登殿
中央通　松尾　悦子殿
▽故築地　清子殿
芳の浦　築地　一夫殿

**青年会のみなさん ありがとう!!**

昨年十二月十四日(日曜日)北風が吹き荒れる中、町青年会員は、国道二〇四号線や主要道路のカーブミラーみがきを行いました。

ドライバーの皆さん、安全運転をお願いします。

▽故松本済太郎殿
芳の浦　松本　セツ殿
▽故松田嘉納子殿
口石　磯本洋太郎殿
▽故松本　ミツ殿
土手迎　松本　泉殿
▽故末吉　正夫殿
志方　末吉シヅエ殿

以上の方々から多額のご寄付を戴きました。厚くお礼を申し上げます。

**歳末たすけあい 募金のお礼**

十二月一日から全国一斉に実施された「第三〇回NHK歳末たすけあい運動」は十二月二十五日で終わりました。

部落を通じて寄せられた方々、佐々、口石両小学校児童会、青年会、婦人会など各種団体初め、一年間にわたり店頭募金された個人商店主など、皆さま方から温い義援金が寄せられ、本町目標額を約五十%も上回る七十万六百十九円が集まりました。

この募金は、町内の生活に困っておられる御家庭や、三ヶ月以上町内外の病院に入院している人、特別養護老人ホームなど養護施設に入所している人などに、またお餅の寄贈もそれぞれ多数の人々に贈り、大変喜ばれました。

皆さま方の御厚志に厚くお礼申し上げます。

社会福祉法人
佐々町社会福祉協議会
会長　菊本　春夫

## 国際障害者年

**みんなが参加し みんなが平等に暮らせる よりよい社会づくりを**

今年は「国際障害者年」一九七六年(昭和五十一年)の国連総会でリビア大使の提案で「社会への完全参加と平等」をテーマとして定められたものです。障害をもつ人々が、社会の一人としてさまざまな分野で積極的に活動し、現代社会で平等な生活の営みができるようにすることがこのテーマであり、その実現に向って大きな第一歩を踏み出すわけであります。

わが国では、約三五〇万人の人が心身に障害をもっていると推定されていますが、生れつき障害を背負った人、生後事故などにより障害になる人など、いろいろなケースがありますが、私たちは誰もが障害者になる可能性をもっているのです。障害者問題は、単に障害をもつ人だけの問題でなく、私たち一人ひとりが自分自身の問題として理解し、幅広い社会的な連帯意識をもって解決していくべきと思われます。

国は、国際障害者年推進本部を中心として啓発活動、障害者対策、国際協力の三点に重点をおいて、国際障害者年事業を推進しています。社会福祉協議会としても、積極的に取り組みたいと考えています。

国際障害者年を契機として、障害者問題に対する理解が、地域社会のすみずみまで浸透し、更に今後の問題解決の礎となるよう心から願うものです。

## 心配ごと相談

◎毎週水曜日、午後一時半から
◎老人福祉センター
◎電話②2655
どうぞ、ご利用下さい。

相談担当者
▲二月▼四日＝川村久米吉、十八日＝松尾幸雄、二十五日＝内山武次▲三月▼四日川村久米吉、十一日＝松尾幸雄、十八日＝内山武次、二十五日＝川村久米吉

〔2月行事予定〕

◎催しもの
▲毎週金・日曜日おどりの日
午後一時から三時半まで
▲第一・三水曜日、詩吟のけいこ　正午から三時半まで
▲八日　月例演芸会の予定
◎休館のお知らせ
▲毎週月曜日▲十一日(建国記念の日)

役場の電話は
2−2101です

# 2月のお知らせ

## 職業訓練校生徒募集

北松建設協同高等職業訓練校（佐々町技能センター内）では、次の要領で56年度入校生を募集しています。

◎応募資格
実務経験５年以上又は高等学校卒業（卒業と同程度の学力を有する者を含む）
◎募集人員
土木科30名
◎募集期間
今年３月末日まで
◎訓練期間
１ヶ年

▶新入校生には、奨学資金が貸与されます。
▶修了後２年の実務経験で技術検定２級が受験でき、学科試験が免除されます。
▶修了後７年から10年の実務経験で職業訓練指導員の資格を取ることができます。

くわしくは、佐々町技能センターへおたずねください。
（電話②6426番）

## 「緑の羽根募金」にご協力を!!

長崎県緑化推進委員会では、例年２月１日より３月31日までを緑化強調期間と定め、緑化推進運動の一環として本年度も緑の羽根募金が実施されることになりました。

この募金は、町や村に還元され、学校、公園、道路等みなさまの身近な公共の施設の緑化に活用されます。

明るく住みよい緑豊かな郷土を築くために御協力下さるようお願いします。

つきましては、部落会長さんを通じ、緑の羽根１本20円で募金を行うことにしていますので重ねて御協力方お願いいたします。

## 「わが家の家計簿」体験談募集

資源、エネルギーの制約下、暮らしを見直す必要性が強まってきている折柄、個性的で質的に充実した生活をめざしていくためにはしっかりした家計管理が一段と必要となってきます。あなたの貴重な体験を家計簿の活用に努力している方々の参考のため発表をお願いします。

①内容…家計簿記帳に関するものはなんでも自由です。
②原稿…400字詰原稿用紙5枚以内。
③募集期間…２月28日まで
④入選…佳作以上には賞金が贈られます。
⑤送り先…長崎市炉粕町32
日本銀行長崎支店内
長崎県貯蓄推進委員会

なお、内容とか添付書類等くわしいことについては総務課におたずね下さい。

## 妊婦検診

12日㈭9：30〜11:30
ところ　住民総合センター

## 乳児検診

12日㈭１ヵ月生〜４ヵ月生
19日㈭５ヵ月生〜８ヵ月生
26日㈭９ヵ月生〜12ヵ月生
ところ　住民総合センター
午後１時30分から３時まで

※１才６ヵ月健診は３月９日です。

## バレーボール一般女子部員募集

佐々町バレーボール一般女子部（部長前川隆行）では、部員を補強するため募集しております。初心者、経験者を問いません。毎週月曜・木曜午後７時から町民体育館で練習しておりますので、気軽にお立寄り下さい

## 住宅金融公庫個人向け融資受付

本年度第４回目の受付けを２月26日まで行います。

◎融資限度額等
木造住宅で410万円から490万円、その他割増し融資の制度もあります。

◎利　率　　年利 5.5%

くわしくは住宅金融公庫業務取扱金融機関または住宅金融公庫福岡支所へお問い合せ下さい
（電話 092−712−5555）

## 所得税の確定申告は2月16日からです

申告期限は３月16日ですが期限間近になりますと税務署はたいへん混雑しますので、なるべく早目に済ませましょう。

税の相談はお気軽に

目の不自由な人には読んであげましょう